

第 56 回建築士会全国大会しまね大会紹介

5) 島根の近代化遺産 4 鉄道遺構

島根の鉄道敷設は明治 40 年以降でした。国鉄出雲大社駅の開業も明治 45 年です。しかし押すな押すなの大盛況に悲鳴を上げ、大正 13 年に今の駅舎に建て替えました。その頃、出雲大社の神苑拡張の設計に携わっていた伊東忠太が設計の助言者であった可能性もありますが、棟札にあった設計者は鉄道省の技師曾田甚蔵でした。多くの参詣者を見守った出雲大社駅も



旧 JR 大社駅

昭和の後期に廃止されました。現在残っている建物は重要文化財に指定されています。この建物はわずか 6 ヶ月で出来たそうです。私鉄、一畑電鉄大社駅が出来たのは昭和 5 年(1930)です。



一畑電鉄大社駅



一畑電鉄大社駅内部

アールデコ調の流線形スタイルのモダン駅舎は評判だったことでしょう。待合室はステンドグラスの光があふれています。また、構内



一畑電鉄大社駅とデハニ 50 形



旧 JR 出雲大社駅内部

には現役で最も古い電車も停車しています(保安上運航していません)。

大田市駅の跨線橋には明治 23 年と刻印されています。鉄道開通前の年代ですので、どっかのお古をもらってきたのではないかと思います。それにしても、日本最古の跨線橋ではないかと言われています。



大田市駅跨線橋



宇津井駅と線路

もう一つ紹介するのは JR 三江線宇津井駅です。谷をまたぐようにかかった鉄道は高架の上に駅があります。階段は 6 階建て分を上がります。高齢者の多い集落に、日本一非ユニバーサルな駅です。もちろんエレベーターなどありません。